WRレベル２評価質問票

氏名

\* NYC＝まだ不十分

\* Ｃ＝十分である

\* Ｅ＝卓越している

**計画**

1. シーズンの個人的な目標を明らかにする。NYC C E

2. プレーヤーの能力、発育状況、経験に基づいてチームのシーズンの目標を明らかに

する。NYC C E

3. コーチングセッションのための用具と施設を準備する。 NYC C E

4. 最低6週間分の試合とコーチングの機会のプランニング、実行、および、レビューのプロセスについて包括的に理解し、遂行していることの証拠を提出する。

NYC C E

5. 自己反省とフィードバックに基づいた行動計画を立てる。NYC C E

**コーチングプロセス（スタイルを含む）**

6. セッションのねらいを発表する。NYC C E

7. 適切な説明、デモンストレーション、質問を用いて練習活動を発表する。

NYC C E

8. プレーヤーの活動量を最大化する。NYC C E

9. プレーヤーのパフォーマンスを正確に観察する。NYC C E

10. 活動を分析し、プレーヤーの能力に合わせて練習を進行する。NYC C E

11. 個々のプレーヤー、グループ、チーム全体に対し様々なスタイルを用いてコミュニ

ケーションをとる。NYC C E

12. セッションのねらいを振り返り、学んだことをまとめる。NYC C E

13. プレーヤー、他のコーチと練習セッションを振り返る。NYC C E

**ラグビーの知識とスキル**

14. 適切なレベルの技術的内容を指導する。NYC C E

15. プレーの原則を使い、チームのパフォーマンスを分析する。NYC C E

16. キーファクターを使い、個々のパフォーマンスを分析すう。NYC C E

17. ユニットスキルやチームプレーのコーチングには機能的役割分析を応用する。

NYC C E

18. 試合につながる練習を計画する。NYC C E

19. 攻撃と防御の練習のバランスをとる。NYC C E

20. セレクションを告げるときは、キーファクターと機能的役割を使う。NYC C E

21. worldrugby.org.lawsにてオンラインのルール試験を受ける。NYC C E

**プレーヤーウェイルフェアー**

22. 全ての練習、試合会場での緊急時の計画を認知している。NYC C E

23. 施設や用具が安全であることを確認する。NYC C E

24. プレーヤーの健康状態と服装、用具が安全であることを確認する。NYC C E

25. 練習の始めにはセッションに関連するウォームアップ、終わりにはクールダウンと

リカバリーを確実に行う。NYC C E

26. 個人スキル、ユニットスキルを安全にコーチングする。NYC C E

27. プレーヤーの怪我や病気、復帰に対するコーチの役割を説明する。NYC C E

28. worldrugby.org/rugbyready にてラグビーレディー試験を受ける。NYC C E

**哲学と倫理行動**

29. それぞれの環境で適切なコーチング哲学を説明する。NYC C E

30. ラグビーの中心的意義を明らかにし、コーチング行動に応用する。NYC C E

31. 他の人の行動がラグビーの中心的意義に反するときは、それを明らかにし、抗議する。

NYC C E

32. チームへのコーチングとそれに関わる人に積極的に貢献する。NYC C E

講習会に関するコーチ（受講者）の自己反省

d